

【鉦の鉦】

はればれと打ち納めけり鉦の鉦
鉦の鉦この世あはれと叩きけり

中村汀
長谷川權

【戻り囃子】

はるかより戻り囃子の鐘の音

近藤沙羅

【鉦の稚児】鉦の児

かしこくも羯鼓字びぬ鉦の児
うす痘の見えずていとし鉦の児
鉦に出た児によんべの夢間はん
目ふたいで鉦下りにけり児の親
我子にて候へあれにほこの児

召波
几童
比松
大魯
大江丸

左右よりなさるるままに鉦の稚児

本橋康子

鉦の稚児煽ぐ大きな団扇かな

同

鉦の稚児扇のかげに休みある

同

鉦の稚児金の袂をひるがへし

同

かんばせのまことに白し鉦の稚児

同

鉦の稚児強力の背にけなげなり

同

かつがれて鉦に乗る稚児尊しや

同

長刀鉦稚児の瑤瑤ゆれどほし

同

秋枝雪子
山本華子
上松美智子
坂口和子

同

むかし稚児いまは笛吹く囃子方
かつがれし稚児ふりむくや鉦梯子
恙なく注連縄断つや鉦の稚児
鉦稚児の上がりて梯子外しけり
舞ふやうに注連切つて鉦の稚児
級友にはげまされる鉦の稚児
炎天に花と舞ひてで鉦の稚児

同

【生稚児】

生稚児の身を投げ出すやあなかしこ
生稚児の凛々しく舞を納めけり
生稚児に仕へてをりぬ大団扇
魂鎮めたまへ生稚児羯鼓打つ
強力の肩に生稚児大朝日
生稚児の舞ふや人形さながらに
生稚児を煽げや煽げ金扇
生稚児の今宵は母のふところに
生稚児や人形よりもはかなげに
生稚児の今は香屋の主かな
生ちこや命あるもの麗しく

石塚純子
大場梅子
山根雪
諏訪いほり
石川桃瑪
川村玲子
趙栄順
藤英樹
大谷弘至
長谷川權
同

【宵山】

宵山や入り日まばゆき唐錦
宵山や草の匂ひの瓜供へ
宵山や子供が売れる恋の護符
宵山や粽おひとつどうどすか
宵山や押されてのぼる鉦梯子
しびれ京へのぼれやけふは宵山ぞ
宵山や人とはぐれて人の中
宵山や大丸前で待ち合はせ
宵山や駒形提灯花のごと
宵山や鷹の屏風を見にゆかん
宵山や古琴一つ置かれあり
宵山や光琳百図踊り出づ
宵山の高張一つ休み山
宵山の鉦の音こそ涼しけれ
宵山や外郎売りの口上も
宵山の人波夜に入りけり
なつかしや宵山の灯も合ふ人も
宵山の山の灯れり潦
紫蘇もみし指そのままに宵山へ

収芋
岩根壽美
同
同
中村汀
同
木下洋子
山田寿美子
本橋康子
同
近藤沙羅
同
田宮尚樹
佐々木まき
大場梅子
山本華子
安藤久美
原田耕治
横山幸子

宵山の灯に寝入りたる東山
宵山にすこしてれつつ帰省かな
宵山や糸屋格子の中にあて
宵山の禊の雨となりけり
宵山の茹であがりたる顔ばかり

鎌倉英二
夏井通江
角野京子
水室茉莉
長谷川權

【宵祭】

秋草の小袖の揺れて宵祭
宵祭ちきりや町に仮寝して
屏風絵の千草吹かるる宵祭
先代の蠅螂も出て宵まつり
宗達の秋草に風宵祭
早くから浪速の客や宵祭
南蛮寺跡を通りぬ宵祭
をとこなら笛方がよし宵祭
でで虫の香炉寂びたり宵祭
吉例の鮎菓子買はん宵祭
今年また琴を飾りぬ宵祭
水笛に水を足しけり宵祭

飛岡光枝
川村玲子
本橋康子
同
近藤沙羅
中村汀
同
同
同
安藤久美
岩根壽美
清田喜代子

【宵の鉦】

見上ぐれば紙垂降るごとし宵の鉦

佐々木まき

【鉦の鉦】

はればれと打ち納めけり鉦の鉦
鉦の鉦この世あはれと叩きけり

坂元初男
中西幸雄

【戻り囃子】

はるかより戻り囃子の鐘の音

同

【鉦の稚児】鉦の児

かしこくも羯鼓字びぬ鉦の児
うす痘の見えずていとし鉦の児
鉦に出た児によんべの夢間はん
目ふたいで鉦下りにけり児の親
我子にて候へあれにほこの児

清田喜代子
上田悦子
田宮尚樹
大谷弘至

左右よりなさるるままに鉦の稚児

同

鉦の稚児煽ぐ大きな団扇かな

同

鉦の稚児扇のかげに休みある

同

鉦の稚児金の袂をひるがへし

同

かんばせのまことに白し鉦の稚児

同

鉦の稚児強力の背にけなげなり

同

かつがれて鉦に乗る稚児尊しや

同

長刀鉦稚児の瑤瑤ゆれどほし

同

秋枝雪子
山本華子
上松美智子
坂口和子

同

むかし稚児いまは笛吹く囃子方
かつがれし稚児ふりむくや鉦梯子
恙なく注連縄断つや鉦の稚児
鉦稚児の上がりて梯子外しけり
舞ふやうに注連切つて鉦の稚児
級友にはげまされる鉦の稚児
炎天に花と舞ひてで鉦の稚児

同

【生稚児】

生稚児の身を投げ出すやあなかしこ
生稚児の凛々しく舞を納めけり
生稚児に仕へてをりぬ大団扇
魂鎮めたまへ生稚児羯鼓打つ
強力の肩に生稚児大朝日
生稚児の舞ふや人形さながらに
生稚児を煽げや煽げ金扇
生稚児の今宵は母のふところに
生稚児や人形よりもはかなげに
生稚児の今は香屋の主かな
生ちこや命あるもの麗しく

石塚純子
大場梅子
山根雪
諏訪いほり
石川桃瑪
川村玲子
趙栄順
藤英樹
大谷弘至
長谷川權
同

【宵山】

宵山や入り日まばゆき唐錦
宵山や草の匂ひの瓜供へ
宵山や子供が売れる恋の護符
宵山や粽おひとつどうどすか
宵山や押されてのぼる鉦梯子
しびれ京へのぼれやけふは宵山ぞ
宵山や人とはぐれて人の中
宵山や大丸前で待ち合はせ
宵山や駒形提灯花のごと
宵山や鷹の屏風を見にゆかん
宵山や古琴一つ置かれあり
宵山や光琳百図踊り出づ
宵山の高張一つ休み山
宵山の鉦の音こそ涼しけれ
宵山や外郎売りの口上も
宵山の人波夜に入りけり
なつかしや宵山の灯も合ふ人も
宵山の山の灯れり潦
紫蘇もみし指そのままに宵山へ

同

【宵祭】

秋草の小袖の揺れて宵祭
宵祭ちきりや町に仮寝して
屏風絵の千草吹かるる宵祭
先代の蠅螂も出て宵まつり
宗達の秋草に風宵祭
早くから浪速の客や宵祭
南蛮寺跡を通りぬ宵祭
をとこなら笛方がよし宵祭
でで虫の香炉寂びたり宵祭
吉例の鮎菓子買はん宵祭
今年また琴を飾りぬ宵祭
水笛に水を足しけり宵祭

同

【宵の鉦】

見上ぐれば紙垂降るごとし宵の鉦

同